

1. 評価結果概要表

平成19年 11月 6日

【評価実施概要】

事業所番号	2092400049		
法人名	社会福祉法人サン・ビジョン		
事業所名	グループホーム 第2グレイスフル辰野		
所在地	長野県上伊那郡辰野町樋口454-1 (電話) 0266-44-1321		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成19年11月2日	評価確定日	平成19年12月11日

【情報提供票より】( 19年 8月 20日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 12月 7日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤11人	非常勤1人 常勤換算11.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000(30日) 円	その他の経費(月額)	18,900 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 ( 8月 20日 現在)

利用者人数	18 名	男性 9 名	女性 9 名
要介護1	6名	要介護2	8名
要介護3	4名	要介護4	
要介護5		要支援2	
年齢	平均 82 歳	最低 62 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	辰野総合病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周囲に民家の菜園が望める落ち着いた環境の中にグループホームがあります。社会福祉法人サン・ビジョンを母体を持ち、介護付有料老人ホーム・介護支援センター・小規模多機能型居宅介護を併設されており連携が図られている。管理者は認知症介護経験年数も長く、ケアサービス提供にあたり常に向上心を持って職員の指導に当たられると共に、スーパースターシートを活用し、職員の育成にも努められている。入居者に張り合いや喜びのある日々を過ごす為に「園芸・昔の音楽・紙相撲などの昔の遊び」を取り上げ各担当を決め職員全員で取り組まれ、入居者の生活の質の向上に努められている。入居者はホームでゆったりと豊かに過ごされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回がグループホーム開設以来最初の外部評価にあたるため、この項目は該当しません。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	開所から約11ヶ月経過の中にも拘らず、ホーム経験豊かな管理者の下自己評価及び外部評価の意義や目的を職員全員で理解をし評価への取り組みが行われている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議には、入居者、ご家族、地域住民等幅広い立場の方々が参加し、会議の意義や役割を説明して積極的に関わって頂いている。運営推進会議運営事項(案)、施設運営に関する事項、地域の医療・保健福祉サービスの向上に関する事項、地域の交流・発展に関する事項、その他これらの付帯する事項等運営要綱(案)に基づき内容を確認し、継続的に検討事項・懸案事項に取り組まれている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	契約時に重要事項説明書に記載されている苦情・相談窓口の説明をされると共に、運営推進会議やご家族ホームが面会時に気軽に意見を出せる場面づくりに配慮が払われている。なおご家族には毎月入居者の現況報告をされる際写真を添付することにより、ご家族の安心に繋がっている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	毎日の楽しい外出(散歩・買い物・外食等)により地域の方々との出会いや交流を持たれている。なお小学校や地域ボランティアとの交流も持たれている。今年度は地域行事の文化祭に入居者の作品を持って参加する予定を伺った。地域に向けた積極的な取り組みに意欲をもたれている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を掲げて運営されている。なお法人の理念に基づいて事業所の事業計画が立てられている。	○	法人理念を基にホーム独自の地域密着型サービス(家庭的な環境と地域住民との交流の下で)としての役割を目指した内容となっており、日々の方針や目標に具体化した内容となっていることが望まれます。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフルームに法人理念を掲示され申し送り時に唱和し、職員全員で周知を図り理念を共有されている。なお理念に基づき事業計画を作成し、事業所の目的を明確にされている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	職員は、各事業(認知症予防教室・生きがいデイサービス・機能訓練等)に地域活動に参加し地域との交流に努められている。入居者は散歩や買い物、外食等に外出した折地域の方々への挨拶を交わされている。なお小学校や地域ボランティアとの交流を持たれている。今年度は作品を持って文化祭に参加し交流を図られることを伺った。	○	今後更に地区の行事等に関する情報共有に努め入居者が地域住民の一員として地域の行事に自由に参加でき交流が出来るよう積極的に取り組みに努められている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	開所から約11ヵ月半経過の中で管理者、職員はサービス評価の意義や目的を理解し、自己評価及び外部評価を基に、具体的な改善に取り組まれて行かれる旨を伺った。	○	今後更に毎年度の評価時期を明確にし、確実な改善策に向けて取り組まれる姿勢が見られる。

グループホーム第2グレイスフル辰野

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議においてホームからの報告や入居者、ご家族、その他参加者よりの意見、要望を集約し、検討事項、懸案事項について協議して経過報告をする仕組みがつけられている。協議内容について職員全員に報告し周知が図られサービスの向上に繋がられている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	辰野町より受諾されている認知症予防教室や生きがいデイサービス、特定高齢者運動機能向上事業等を通して町職員との協働関係が確立している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族面会時に現況を報告されたり、入居者の特変時には速やかに連絡をとり対処されている。また月次請求書発送時に入居者の日常生活場面入りの写真とコメントを載せてご家族の安心に繋がられている。	○	今後の取り組みとして写真と共にビデオ撮影をして上映会を開催したい旨を伺った。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に入居者、ご家族が出席の折に意見、要望等が出出できる機会があり、出された意見、要望に対し職員間で話し合われ、運営や日頃のケアサービスに活かされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員との定期的な個人面談等により、職員のストレス軽減を図り離職率の低下を目指し、入居者やご家族の不安軽減に努められている。異動が生じた時には、ご家族面会時に新任職員の紹介をしたり、お便りに写真入りで紹介がされている。		

グループホーム第2グレイスフル辰野

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員の能力を自己確認していく為のスーパーシートを活用し、職員がチャレンジする項目を明確にして目標を立て研修等に参加されている。なお法人内の勉強会も定期的開催され、職員が働きながら技術や知識が得られる取り組みが行われている。	○	今後更に各職員が不得意としている事柄を再確認し、勉強会の内容配慮への取り組みがされている。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	母体系列のグループホーム」との交流は持たれているが、他の同業者との交流が図られていない。	○	他法人のグループホームとの交流や連携を図り更なるサービスの向上に繋がられることに期待します。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居予定者やご家族には利用開始前にホーム見学に来ていただき、入居者の安心と納得を大切にした利用の支援が行われている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に入居者と同じ目線に立ち、尊重した言葉掛けが出来るよう、定期的にホーム独自で作成された「セリフ集」を用いてサービスを振り返られる試みがされサービスの質の向上に努められている。なお入居者の良い表情や、楽しそうな会話が見られて時には、共に喜び合う関係が築かれている。	○	今後の取り組みとして、職員が入居者の気持ちになって一日を過ごしてみる、一日入居者体験を取り入れて行かれることを伺った。(入居者の思いや不安等を感じ取ることにより、より良いケアサービスに繋がっていかれる)

グループホーム第2グレイスフル辰野

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者から積極的に希望や要望を聞きだすよう努められている。表出困難な方にはご家族も交え話し合いを持っている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃より入居者やご家族の意見、要望をアセスメントシートに書き留めると共に事業所内のカンファレンス及び入居者、ご家族とのカンファレンスから出された意見、意向をケアプランに反映されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の介護計画の見直しが行われている。なお入居者の身体状況に著しい変化が見られた時は必要に応じ見直しがされている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要な場合には、職員による通院介助や個別外出介助が行われている。なお入居者の居室にご家族が宿泊できる用意がされている。		

グループホーム第2グレイスフル辰野

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各入居者の主治医において適切な診療を受けている。ホームでは主治医との連携を図られている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	主治医との連携により入居者の状態を把握しており、利用者の状態が、治療・療法・看護等を常時必要とする状態になることが考えられる場合は入居者、ご家族と話し合わせ今後の方針を決められている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者へのアプローチに成功した事例、失敗した事例を分析する取り組みが行われ、入居者を尊重した声掛けが行えるよう、定期的に振り返りを試みられている。記録については個人情報に関するものはシュレッターにて処理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの力量に合わせ、掃除・洗濯・食事づくり・おしぼりたたみ・菜園づくり等その日の入居者の体調や気分に合わせて参加できるように支援がされている。		

グループホーム第2グレイスフル辰野

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備から後片づけまで入居者と職員が話し合いながら一緒に行なわれている。入居者一人ひとりの好みや希望を聞いてメニューに反映されている。職員は入居者と一緒にテーブルにつきお話をしながら支援されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴への声掛けを毎日個別に行い、入居者の入りたい日に入れるよう支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	好きなテレビ番組や新聞が読めるよう用意されている。なお園芸や昔の音楽、紙相撲などの昔の遊びが用意され好きな時に参加できるよう配慮されている。食器洗いや掃除、洗濯等を入居者が中心となって行われている。役割が生活の張りや楽しみに繋がっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物な入居者の希望により毎日行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在入居者の中に精神状態が著しく不安定な方がおりホームより飛び出し傾向にあり、一時的に正面玄関のみ施錠されている。(ウッドデッキへの施錠はなく自由に出入りできている)	○	主治医と相談を行いながら内服薬の見直しを行い、日中は鍵をかけない環境が保てるよう努力されている。

グループホーム第2グレイスフル辰野

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の定期的な防災訓練を実施している。	○	地域の方々との防災訓練を確実に実施できるよう働き掛けて行かれる事に期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの1日の摂取量を把握し、毎食の食事量をチェック」が行われている。水分量についても一日を通して確保されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共用空間には天窓よりやわらかい光が注ぎ、空間に飾られた花や絵画が背景に映え季節感を味わうことができると共に、ユニット間に設置された調理場よりの食材の匂いから生活感が伝わってきます。入居者はゆったりとしたソファに腰掛けテレビを見たり貼り絵をしたりと寛がれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご夫婦で入居されている方が居り、二つの居室を寝室、来客室と使い分けられている方、使い慣れた家具や生活用品、仏壇、写真、装飾品等が飾られそれぞれ思い思いの居室形態が見られた。		

※ ■ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。